

科目名	エアラインサービスマナー I B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	平田 かおり / 大久保 舞	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務 国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 (キャビンアテンダントコース・グランドスタッフコース) 1年						
授業概要	チェックインカウンターには、ご高齢のお客様や赤ちゃん連れの方、お子様1人旅など、様々なお客様がいらっしやる為、それぞれのお客様に寄り添った案内や声掛けを習得していく。接客マナースキルコンテストを実施し、様々な事情があるお客様へのサービスの内容や言葉を各自で考えて、お客様に寄り添った対応ができるかを審査していく。						
授業形態	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○	○	○		航空業界にふさわしい身嗜みや立ち居振る舞い、言葉遣いができる	
	○	○		○		空港カウンターでの搭乗手続きの基本的な流れと説明内容を覚え、実践できる	
		○		○		それぞれの事情をお持ちのお客様に合わせた対応と声掛けができる	
テキスト・教材 参考図書	『ANAグランドスタッフ入門』『JALグランドスタッフ入門』イカロス出版、オリジナルプリント、各航空会社HP						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	コンテスト趣旨説明、2年生のデモンストレーション見学				事前に空港カウンターでの搭乗手続きの一連の流れについて調べてくること。(1時間)	
	2	国内線搭乗手続きについて(基本の流れ)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	3	旅客ケース①(ビジネス旅客の対応)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	4	旅客ケース②(高齢者の方の対応)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	5	旅客ケース③(お子様一人旅の対応)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	6	旅客ケース④(赤ちゃん連れのお母様の対応)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	7	ロールプレイ(ペアでの練習・振り返り)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	8	ロールプレイ(ペアでの練習・振り返り)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	9	中間発表				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	10	プロの接客コンテスト動画視聴、自身の接客についての振り返り				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	11	ロールプレイ(グループでの練習・振り返り)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	12	ロールプレイ(グループでの練習・振り返り)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)	
	13	リハーサル				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。運営面での役割を把握しておくこと。(1時間)	
	14	接客マナースキルコンテスト(予選)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。運営面での役割を把握しておくこと。(1時間)	
	15	接客マナースキルコンテスト(本選)				前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。運営面での役割を把握しておくこと。(1時間)	
評価方法	接客マナーコンテスト(予選)での実技を、チェックシートに基づいて評価する。 (身嗜み、立ち居振る舞い、言葉遣い、搭乗手続きの基本対応、旅客に寄り添った声掛けなど) 成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	接客マナースキルコンテスト		○	○	○		100%
履修上の注意	航空業界にふさわしい身嗜みで参加すること(スーツ・スカーフ着用)。						

科目名	キャビンアテンダント業務Ⅰ									
科目名(英)										
単位数	1単位		時間数		20時間		担当者		未定	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科(キャビンアテンダントコース)1年									
授業概要	キャビンアテンダント(以下CA)を目指す学生を対象に開講する。国内線CAの日常業務を理解し、知識を習得する。CAの業務には大きく、保安業務とサービス業務がある。とかくサービス業務がクローズアップされがちだが、CAは保安要員としての役割と自覚が非常に重要である。保安要員としての役割も正確に理解し、知識の習得だけに留まらず、同時に責任ある行動、発言、正義感を育成していくことも目指す。									
授業形態	講義:△		演習:○		実習:		実技:		※主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことが出来る。				
		○				CA業務の基本知識を説明することが出来る。				
			○			ドリンクサービス業務を正確に行うことが出来る。				
		○	○			保安優先の行動が出来る。				
テキスト・教材 参考図書	プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	授業の心構え・CA業務の基礎知識の理解					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	2	CA業務の一連の流れの理解(国内線)					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	3	立居振舞いの練習、美しい接客用語の習得と実践練習					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	4	顧客心理(一般のお客様・VIP・多頻度旅客の心理を知る)					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	5	ドリンクサービス(基本動作)					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	6	ドリンクサービス(事例あり)					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	7	機内アナウンスの基本知識(意義・品質・技術)の習得と実践練習					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	8	保安業務の理解(日常業務の保安業務、火災・急減圧・急病人発生・機内準備)					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	9	安全性チェックの理解と実践練習					習得した知識や動きを復習すること 実技試験まで練習に励むこと(0.5時間)			
	10	実技試験(ドリンクサービス)					習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
評価方法	・機内ドリンクサービスの実技試験を授業最終日に行う (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・所作・基本動作・笑顔・親しみやすさ・手際の良さ) ※笑顔・親しみやすさ・手際の良さに関しては、実フライトでの判断基準を参考にする ・数回レポート課題を出す									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	実技試験			○	◎			90%		
	提出物	○		◎		○		10%		
履修上の注意										

科目名	グランドスタッフ業務Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	20時間		担当者	平田 かおり
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科(グランドスタッフコース)1年						
授業概要	グランドスタッフの職種理解を深め、専門性を身に付ける。航空業界の現場で必要とされる知識を習得し実技を通して接客の技術を磨くことにより、即戦力として活躍できる人材を目指す。						
授業形態	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				航空業界、グランドスタッフに必要な専門用語を理解し、使用することができる。	
	○	○				グランドスタッフの業務の流れを理解し、それぞれの役割について説明できる。	
				○		正しい言葉遣いやお客様への対応力を身に付け、授業内のロールプレイで実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	GSの仕事とは・目標設定				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	2	接客に必要な心構え・言葉遣い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	3	国内線と国際線の違い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	出発業務(カウンター、搭乗口)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	到着業務、ロードコントロール業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	6	手荷物事故				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	7	特別旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	8	多頻度旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	9	空港アナウンス				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	10	期末試験(筆記)				授業の内容をしっかりと復習して臨むこと(0.5時間)	
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	○				50%
	実技試験		◎	◎	○		50%
履修上の注意							

科目名	航空予約端末演習Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平田 かおり
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科(キャビンアテンダントコース・グランドスタッフコース)1年						
授業概要	ANA空港カウンター、ANA予約案内センター、旅行会社等で使われているableというシステムの操作方法を学び、ANA国内線の予約・発券について理解を深めることを目的とする。同時に、ANAの国内線知識についても学び、able国内線検定初級の合格を目指す。本講座はANAのシステムを使用するが、他社を含めた国内線知識も同時に習得し、お客様のニーズを理解し即戦力として活躍できる人材を目指す。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				able国内線検定(初級)の検定問題を、テキストやANA SKYWEBを参照しながら一人で実施することができる。	
		○				操作方法を理解し、問題によって使い分け応用させることができる。	
	○	○				運賃ルールの調べ方や航空券の読み取り方を理解し、解答のポイントを説明することができる。	
		○				able国内線検定(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ableテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、ガイダンス				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	2	ANAの運賃について、able端末概要				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	3	予約 ― 空席照会、予約取得、座席指定				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	4	予約 ― マイレージクラブ会員の予約、待ち予約				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	5	予約 ― 配慮を要する旅客の予約				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	6	PNR検索				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	7	PNR検索 ― PNRの変更、交換発行				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	8	まとめテスト				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	9	解約 ― PNRの解約				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	10	払い戻し ― 手数料の確認				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	11	検定対策問題				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	12	検定対策問題				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	13	期末試験				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	14	検定対策問題				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	15	検定試験(初級)				これまでの復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)授業内で数回小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		30%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意							

科目名	自己表現						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科(キャビンアテンダントコース・グランドスタッフコース)1年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につけ、就職活動に向けた企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。 ①就職活動に必要な書類(履歴書・ES)作成 ②求職票受付面接の指導・面接のための自己分析 ③航空業界の採用情報、企業が求める人材・資質について学ぶ ④企業研究・業界研究を徹底する						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		自己分析をし、様々なテーマで自身について分かりやすく伝えることができる	
		○		○		希望する職種について理解し、志望動機として分かりやすく伝えることができる	
		○		○		航空業界に求められる資質を理解した上で自己PRを作成することができる	
				○		好感のもてる表情や口調で伝えることができる	
		○		○		質問に対してすぐに自身のアイデアをまとめ、返答することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(自己表現の受け方)					
	2	職業理解①					
	3	職業理解②					
	4	職業理解③					
	5	求職面接指導					
	6	求職受付面接指導ESの作成					
	7	求職受付面接指導ESの作成					
	8	自己PR					
	9	志望動機					
	10	求職面接指導					
	11	求職面接指導					
	12	求職面接指導					
	13	求職面接指導					
	14	求職面接指導					
	15	まとめ					
評価方法	(1)課題提出を数回行う (2)授業内で発表する機会を数回設ける (3)面接練習を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出		○		◎		50%
	発表		○		◎		50%
	履修上の注意	就職活動にふさわしい身嗜みで臨むこと(スーツ着用)。					

科目名	空港インターンシップ						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	40時間		担当者	宮崎 みゆき
実施年度	2023年度		実施時期	交代制		担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科(キャビンアテンダントコース・グランドスタッフコース)1年						
授業概要	学内で3回、実習先企業で1回の事前研修を実施し、福岡空港でのインターンシップに必要な基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付ける。また、実習先企業についての情報をノートにまとめ、インターンシップ中の旅客対応に活かす。空港における地上職(グランドスタッフ)の就業体験を通して、実践的スキルと知識を習得する。						
授業形態	講義:		演習:		実習: ○	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					空港での接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
	○					航空業界用語を学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人として、また空港職員として適切な行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
		○				自ら気づく姿勢を持って仕事に臨み、社員に対して業務の提案をすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント、各企業からの配布資料、各企業HP						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	エアラインゼミ(実習前研修)① 身だしなみ確認、シフト作成、専門用語の確認、履歴書提出				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	2	エアラインゼミ(実習前研修)② 出社時のマナー、緊急時の連絡方法、貸与物の管理				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	3	エアラインゼミ(実習前研修)③ 実習先企業でのオリエンテーション				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	4	エアラインゼミ(実習前研修)④ 講話、接客ロールプレイ、実習における目標設定				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	5~	各企業でのインターンシップ				シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。	
評価方法	(1)実習先企業についての情報や空港施設などについてをノートにまとめる。 (2)月に15~20日程度出勤をし、お客様のご案内やオフィス内業務を行う。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	業務状況・報告書提出				◎		100%
履修上の注意	第4回のエアラインゼミにおいて最終確認をし、実習に参加できるかどうかの可否判断を行う。						

科目名	TOEIC対策 I C						
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	和田 菜穂
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。	
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞在場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	導入、夏休み明け復習テスト					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	2	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	3	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(品詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	4	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(代名詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	5	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	6	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(比較)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	7	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(形容詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	8	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	9	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(副詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	10	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(時制)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	11	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	12	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(態、コロケーション)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	13	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(不定詞、動名詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	14	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
	15	定期試験					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。						
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)	
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション					
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検模試①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検模試②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検本試験解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	試験対策					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	試験					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信すること は大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格を 目指す。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえること ができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。 (書く)	
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることがで きる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、 短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション					
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	15	授業内正試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	TOEIC対策 ID										
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ID										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		外資系航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年										
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。										
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune」、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。					
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。					
	○	○				英語の履歴書を作成することができる。(書く)					
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(接続詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	2	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(前置詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	3	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	4	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(関係詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	5	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	6	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	7	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	8	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC直前模擬試験 Q&A					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	15	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	17	中間テスト(TOEIC)②									
18	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					

	19	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC直前模擬試験 Q&A	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Merry X'mas Entertainment					
	25	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	26	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	27	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	28	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	29	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	30	定期試験対策 学期総括					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを中間(10月)、学期末に実施する。(12月実施) 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		5%
	Cover letter&Resume提出	◎	○				5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I D				
科目名(英)	EIKEN Test Test Strategies I D				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	25	英検模試①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検模試②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試解説					
	30	後期のまとめ					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I D									
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I D									
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		中山 久豪	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		塾講師、英語講師	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年									
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)				
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)				
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)				
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)				
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション								
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	4	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	6	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	8	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	9	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	11	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	12	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	14	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	15	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	16	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	17	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	18	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	19	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	20	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	21	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
22	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。				

	23	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	24	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	25	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	26	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	授業まとめ	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	高校英文法をひとつひとつわかりやすく 基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、前期の復習(品詞・5文型)			
	2	前期の復習(品詞・5文型)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	前期の復習(品詞・5文型)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	態①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	態②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	態③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	態④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	態⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	態⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	態確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	分詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	分詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	分詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	不定詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	不定詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	不定詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	不定詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	不定詞⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	不定詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	動名詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	動名詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	動名詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	動名詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	前期まとめ	前回までの復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3) 授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	野々村 賢一
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	英語講師22年
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、前期復習			
	2	前期復習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	句という塊: 準動詞 不定詞の名詞的用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	不定詞の形容詞的用法・副詞用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	不定詞、3用法のまとめとその他の用法 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	不定詞のまとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	動名詞の説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	動名詞の説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	動名詞の実践練習 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	不定詞・動名詞まとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	分詞の説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	分詞の説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	分詞の実践練習 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	不定詞・動名詞・分詞のまとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	分詞構文の作り方と説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	分詞構文の作り方と説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	分詞構文の実践練習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	準動詞 まとめテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	関係代名詞とは? 関係代名詞ができるまで①②③			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	関係代名詞 練習問題			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	関係代名詞 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	準動詞と関係詞のまとめテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	23	関係副詞の説明			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	24	関係代名詞と関係副詞の問題 非制限用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	25	関係代名詞のwhat 複合関係代名詞			予習、復習を行って授業に臨むこと。

	26	複合関係副詞	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	関係詞のまとめの問題	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	これまでのまとめまとめ①	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	これまでのまとめ②	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	期末対策	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	未定
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。また、TOEIC Part5・7問題演習を通じ、品詞と5文型の知識を実践する。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割			
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	第三文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	第一文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	第四文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	第五文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	第二文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	第三文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	第一文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	第四文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	第五文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	五文型 確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1) 定期試験（筆記）を実施する。 (2) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を70点以下とする。 (3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	未定
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語の基本となる品詞と5文型を正しく使用し、より複雑な英文を作成できるようになる。、品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことで、検定取得や会話力向上に必要な英語の運用能力を高める。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	クラス概要の説明、前期の復習（品詞、文型、不定詞と動名詞）			
	2	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	比較①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	比較②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	比較③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	比較④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	態①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	態②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	態③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	態④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	関係詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	関係詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	関係詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	関係詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	関係詞⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	関係詞⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	関係詞⑦			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	仮定法①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	仮定法②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	仮定法③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	仮定法④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	仮定法⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	仮定法⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	分詞構文①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	26	分詞構文②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	27	分詞構文③	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	分詞構文④	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	分詞構文⑤	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめ	前回までの復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点、400点未満を点70点とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English IB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなく文として理解するためには、品詞と五文型についての知識習得が必要である。英文を作るルール(英文法)の基本となる品詞と五文型を学び、ルールの理解を深める。また、名詞・動詞についての知識を深め、より正確に自身の言いたいことを表現できるようになることを目標とする。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	総合英語プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	プレイスメントテスト 振り返り			
	2	オリエンテーション、品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	五文型まとめ			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	助動詞	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	自己紹介文 作成	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめ					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) TOEIC (IP) 検定試験を4月、8月に実施する。 評価方法は700点以上取得で100%、650点以上で95%、550点以上で90%とする。それ以下も取得点数により評価に反映する。 (3) 小テストを実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IP) 検定試験	◎	○				20%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	英単語の品詞がわかる辞書にアクセスできるようにすること。 また、出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	English Conversation I B									
科目名(英)	English Conversation I B									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		未定	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	Airline 1									
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills									
授業形態	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					Raise students' English proficiency				
	○					Give students more confidence in using English				
	○					Workplace related English skills				
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book1									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	Get to know your teacher					none			
	2	1.1 Nice to meet you					Preview lesson materials and review previous lesson			
	3	1.2 Travel Light					Preview lesson materials and review previous lesson			
	4	1.3 Can I Have a Coffee?					Preview lesson materials and review previous lesson			
	5	Teacher's Lseeon or 1.4 Fawltly Towers (needs TV/DVD)					Preview lesson materials and review previous lesson			
	6	1.5 Lookback /teacher's lesson					Preview lesson materials and review previous lesson			
	7	2.1 Join Us					Preview lesson materials and review previous lesson			
	8	2.2 High Flyers					Preview lesson materials and review previous lesson			
	9	2.3 What Time Does It Start?					Preview lesson materials and review previous lesson			
	10	Teacher's Lesson or 2.4 Chalet Girl (needs TV / DVD)					Preview lesson materials and review previous lesson			
	11	2.5 Lookback / Teacher's lesson					Preview lesson materials and review previous lesson			
	12	3.1 Just Good Friends					Preview lesson materials and review previous lesson			
	13	3.2 Big Happy Families					Preview lesson materials and review previous lesson			
	14	Review and Practice for Speaking Test					Preview lesson materials and review previous lesson			
	15	Speaking Test					Review previous lesson material			
評価方法	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験 Semester End Exam		○	○		○		50%		
	小テスト In-class Tasks		○	○		○		50%		
履修上の注意										

科目名	韓国語 I							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	盧 愛蓮	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科 (キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース) 1年							
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。							
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					語彙力を増やし、それぞれの意味について説明することができる。		
		○	○			Listening力を鍛え、意味を理解し答えることができる。		
	○	○				基本の文法を理解し、小テストに合格することができる。		
	○	○				読解力を身に付け、単語や文章の意味を理解し説明することができる。		
テキスト・教材 参考図書	『基礎から学ぶ韓国語』							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	韓国語について						
	2	基礎 文字づくり①						
	3	基礎 文字づくり②						
	4	基礎 文字づくり③						
	5	基礎 文字づくり④						
	6	基礎 単語、仕組みの中のパッチムについて						
	7	基礎続き 文字慣れ 発音変化 その①						
	8	基礎続き 発音変化②						
	9	1課 挨拶、簡単な自己紹介①						
	10	1課 挨拶、簡単な自己紹介②						
	11	2課 疑問文①						
	12	2課 疑問文②						
	13	3課 否定文①						
	14	3課 否定文②						
	15	総まとめ 定期試験対策						
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に(抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				50%	
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%	
履修上の注意								

科目名	中国語Ⅰ							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	王 波	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科（キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース）1年							
授業概要	中国語をマスターするための第一歩は発音です。ゆっくり時間をかけてピンインの発声を習得します。その次に、基本的な文法をふまえながら、できるだけ日常生活に合わせた常用語を数多く取り入れ、中国語の文章表現を修得し、応用できるよう学んでいきます。							
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 （到達目標）	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					語彙力を増やし、それぞれの意味について説明することができる。		
	○	○	○			Listening力を鍛え、意味を理解し答えることができる。		
	○	○				基本の文法を理解し、小テストに合格することができる。		
	○	○				読解力を身に付け、単語や文章の意味を理解し説明することができる。		
テキスト・教材 参考図書	『中国語はじめの一步』							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	中国語入門 中国語の特徴及び習い方 自己紹介						
	2	自己紹介を復習して、ピンインの発声練習及び四声						
	3	単母音と子音をマスターして、四声を繰り返して、発音の特徴をつかむ						
	4	前回の復習 複合母音と四声のつけ場所 数字の練習						
	5	ピンインの発音チェックと発音練習						
	6	第1課 文法ポイント 是という判断文の文型						
	7	単語を読みながら、文法に基づいて会話する						
	8	文の解釈と応用プリント						
	9	小テスト 第2課 文法ポイント						
	10	指示代名詞と副詞と疑問詞						
	11	自分の苗字と出身地を中国語で言えるよう、人に聞けるよう						
	12	単語を読みながら、文法に基づいて会話する						
	13	一部の動詞を勉強して、更に会話の実力をアップする						
	14	復習プリント						
15	期末テスト範囲							
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 以上の観点から、成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上) D(50点以下)をつける。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				50%	
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%	
履修上の注意								

科目名		一般教養 I B						
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口 恵子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年		エアライン科 1年						
授業概要		就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形態		講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					漢字検定準2級程度の漢字の読み書きができる		
	○					数学問題の解法を理解し、正確に解答することができる		
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる		
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治において基礎的な内容を把握し説明できる		
テキスト・教材 参考図書		プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	シラバス説明、時事ニュース				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)		
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について						
	6	ROUND11～15 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	8	ROUND17: 日本語・英語のことわざ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	10	ROUND18: 経済、名数、短歌・俳句				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	11	ROUND19: 漢字の知識、英単語の知識、人口の推移				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	12	ROUND20: 漢字の知識、英文補充、歴史				次回の確認テストの準備として時事ニュースについて考えをまとめておく(0.5時間)		
	13	ROUND16～20 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	14	ROUND11～20 まとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	15	後期試験範囲確認と対策				試験範囲の部分の復習(1.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)確認テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合で評価をする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎			○		80%	
	確認テスト	◎			○		10%	
	出席状況				◎		10%	
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI対策 I D							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口／中山／合力／松藤	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科 1年 エアポート科(1年課程)							
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。							
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。		
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。		
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	8	■中間テスト						
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策						
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験		◎		○		80%	
	中間テスト		◎		○		10%	
	出席状況				○		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名		SPI対策 I E									
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口／中山／合力／松藤				
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験					
対象学科・学年		エアライン科 1年 エアポート科(1年課程)									
授業概要		航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。									
授業形態		講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
		○				前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。					
		○				計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。					
		○				四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。					
テキスト・教材 参考図書		「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)									
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	仕事算、損益算、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	2	場合の数、確率、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	3	分割払いと割合、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	4	推論①、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	5	推論②、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	6	推論③、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	7	後期前半のまとめ						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	8	■中間テスト									
	9	図表の読み取り①、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	10	図表の読み取り②、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	11	模擬試験問題①、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	12	模擬試験問題①、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	13	模擬試験問題②、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	14	模擬試験問題②、四則逆算						テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策									
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。										
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験			◎		○		80%			
	中間テスト			◎		○		10%			
	出席状況					○		10%			
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	SPI対策 I F						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口／中山／合力／松藤
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 1年 エアポート科(1年課程)						
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	■中間テスト					
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策					
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		80%
	中間テスト		◎		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	キャリアデザイン I B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平田 かおり / 大久保 舞
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務 国際線客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科 (キャビンアテンダントコース・グランドスタッフコース) 1年						
授業概要	① 東京研修振り返り発表会において、各グループで協力し合って資料を作成し、プレゼンテーションする。 ② 就職試験に向けた必要な準備の仕方を学び、期限内に必要な行動をとることができる。 ③ 求職票を提出し、求職票受付面接に合格することができる。 ④ 就職活動のための業界・職種研究に取り組み、情報収集の仕方について学び、実践することができる。						
授業形態	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○		○		東京研修振り返り発表会にて、資料作成をし発表することができる。	
				○		就職試験に向けた準備の仕方を理解し、必要な準備を期限内にすることができる。	
		○		○		求職票を提出し、求職票受付面接に合格することができる。	
			○	○		就職面接時の立ち居振る舞い、発言方法の基本を理解し、行動できる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職活動準備期の過ごし方/後期委員会決め					
	2	就職活動幹旋規定/求職票受付面接概要/自己PR作成				求職票の書き方を復習しておくこと。(1時間)	
	3	求職票の書き方/業界・職種への志望動機作成				求職票の下書きをすること。(1時間)	
	4	1・2年生交流会				質問内容を事前に準備すること。(1時間)	
	5	自己PR作成/求職票の書き方				自己PRとして活用できる自身のエピソードをまとめておくこと。(1時間)	
	6	就職実務 ― 求職票受付面接でよく聞かれる質問集を確認				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	7	就職実務 ― 自己PRの作成(自己PRのメインテーマを考える)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	8	就職実務 ― 自己PRの作成(テーマに合うエピソードを考える)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	9	就職実務 ― 面接練習の受け方・入退室の確認				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	10	面接練習 ― 自己PR				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	11	面接練習 ― 志望動機				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	12	面接練習 ― 自身の強みについて				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	13	求職票受付面接				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)	
	14	就職実務 ― 就職活動スケジュール、活動ルールの確認					
15	就職実務 ― 企業説明会の受け方、質問の仕方の確認						
評価方法	(1)求職票受付面接の可否 (2)作文を提出する (3)就職関連の提出物を数回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物		○		○		40%
	求職票受付面接		○		○		40%
	作文				○		10%
履修上の注意							

科目名	就職実務							
科目名(英)								
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	平田 かおり / 大久保 舞	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務 国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科（キャビンアテンダントコース・グランドスタッフコース）1年							
授業概要	エントリーシート・履歴書作成時の注意点や対面・オンライン面接の受け方、WEBテスト受験などについて学ぶ。その後、受験を希望する業界・職種に応じて書類作成準備や面接指導を行っていく。							
授業形態	講義：		演習：	○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 （到達目標）	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
		○		○		適切なマナーや立ち居振る舞いで面接を受けることができる		
		○		○		効果的なエントリーシートや履歴書を作成することができる		
		○		○		筆記試験やWEBテストの問題形式を把握し、時間内に問題を解くことができる		
				○		周囲と情報共有を行ない、面接練習に向けて主体的に準備をできる		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	2	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	3	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	4	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	5	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	6	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	7	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
	8	企業別の受験対策（面接練習、筆記試験対策、エントリーシート添削）					受験希望の業界、企業、職種について調べ、準備をしておくこと。	
評価方法	成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物・発表					◎		100%
履修上の注意								